

大阪府版
依存症相談対応
人材養成テキスト
【ロールプレイ編】
＜ギャンブル等依存症編＞



3-1 ギャンブル等依存症本人編

★流れ

導入 ⇒ ロールプレイ（4分） ⇒ 感想・振り返り（4分）

<ロールプレイ>

【事例】

さとしさんは借金の相談があると、あなたのところにやってきました。人目が気になるようで、個室での相談を希望しました。そんなさとしさんが支援者であるあなたの目の前に相談に来たら、どのように話を聞いたらいいでしょうか。

支援者：こんにちは。今日はどうされましたか。

さとし：借金の中で相談があるのですが、どこかに話が漏れることはないでしょうか？

支援者：借金についてのご相談ですね。お話しいただいたことは、誰かにお話しすることはありませんので、どうぞ安心してお話しくださいね。

 秘密は守ると約束する

借金ということですが、詳しく聞かせてもらえますか。

 まず、じっくり話を聴く

さとし：はい。実は…、金融機関に 500 万円の借金があるんです。妻は知りません。自分で何とかしないといけないと思っているのですが、どうすればいいかわからなくて…。

支援者：500 万円の借金をご自身で何とかしようと悩んでおられるんですね。奥さんはご存知ないとのことですが…。

 まず、じっくり話を聴く

さとし：はい。実は借金の理由が競馬なんです。妻にバレる前に借金を返そうと思って、今度こそと競馬をするんですけど、だんだん勝てなくなってきて…。

支援者：奥さんにバレないように借金を返そうと思ってるんですね。大変な状況をお話ししてくださってありがとうございます。借金の理由が競馬ということですが、もう少し詳しくお聞きしてもいいですか。競馬はいつ頃から始められたのですか。

 ねぎらう
 まず、じっくり話を聴く

さとし：はい…。競馬は就職してから同僚に誘われて行き始めたんです。妻から月々の小遣いはもらっていましたが、最初はその範囲で趣味程度にしていました。でも数年前から、小遣いの範囲を超えてまでするようになってしまっていて…。子どもの学

資保険にまで手をつけてしまったんです。

支援者：なるほど。はじめは問題なかったけれども、徐々に小遣いの範囲を超えてしまうようになったんですね。

さとし：はい。当然妻にはひどく怒られました。それからは小遣い制ではなく、妻に言って必要な分だけもらう形になっています。

支援者：そうなんですね。奥さんも心配してそのような方法をとられたんですね。それからはどうされましたか。

 まず、じっくり話を聴く

さとし：競馬はやめるつもりだったんです。でも、せめて学資保険の穴だけは埋めようと思って競馬をするんですが、勝てなくて…。

支援者：やめるつもりだったのにやめられず、奥さんにも相談できず、お一人で抱えられていて、つらかったですね。

 共感する

さとし：もうどうしたらいいのかわからなくなってしまっ。

支援者：お話ししてくださって、ありがとうございます。これからのことについて、一緒に考えていきましょう。

 ねぎらう
 一緒に考える

さとし：ありがとうございます。でも、どうしたらいいんでしょうか。

支援者：借金の相談については、専門の相談窓口があります。そこに相談して、まずは何からすればいいのか聞きましょう。
競馬をやめたいのにやめられないということについては、保健所で相談ができます。一度相談に行ってみませんか。もちろんそこでも秘密は守られますよ。

◎ 情報提供

◎ つなぐ

 秘密を守ると約束する

さとし：そうなんですか…。一人でいきなり相談に行っても、大丈夫なんでしょうか？

支援者：はい。予約をすればお一人でも大丈夫ですし、もしよければ、私も一緒に相談に行くことができますよ。

 一緒に考える

さとし：最初は一緒に行ってもらえる方が、心強いですね…。お願いしてもいいですか？

<p>支援者：わかりました。それでは、私から相談の予約を取りますね。</p> <p>さとし：はい。お願いします。</p> <p>支援者はさとしさんの都合のいい日を聞き、保健所に電話をして相談の予約を入れました。</p> <p>支援者：それでは、〇日に保健所の入り口で待ち合わせにしましょう。借金の相談についても、これから連絡をしますので、相談してみましよう。</p> <p>さとし：わかりました。よろしくお願いします。</p>	<p>◎ つなぐ</p> <p> 長く関わる  一緒に考える</p>
---	--

【この後の経過】

支援者から借金の相談窓口連絡し、必要事項を聞き、さとしさんが希望したため窓口相談の予約を行いました。また後日、さとしさんは支援者と一緒に、ギャンブルの問題について保健所へ相談に行き、今後も保健所で継続相談をすることになりました。また、自助グループを紹介してもらい、見学することになりました。支援者も引き続き、さとしさんと連絡を取り合い、声をかけ、保健所での相談内容や、借金の状況を聞きながら、長く関わり続けています。

3-2 ギャンブル等依存症家族編

★流れ

導入 ⇒ ロールプレイ（4分） ⇒ 感想・振り返り（4分）

<ロールプレイ>

【事例】

やすこさんの息子は会社員として勤めていますが、収入以上の金額をギャンブルに費やし、消費者金融から借金したこともあります。あなたとやすこさんは、前に借金の相談で話したことがあります。やすこさんのギャンブルについては聞いたことがありませんでした。やすこさんが支援者であるあなたのところに再び相談に来たら、どのように話を聞いたらいいのでしょうか。

支援者：やすこさん、こんにちは。今日はどうされましたか。

やすこ：実は、ちょっと話しにくいことなんです。また借金のこと
で相談が…。

支援者：借金についてのご相談ですね。よく来ていただきましたね。
前にもお話しいただきましたが、借金についてお話しても
らってもいいですか。今回も、お話しいただいたことは、誰か
にお話しすることはありませんので、安心してください。

 ねぎらう
 まず、
じっくり話を聴く
 秘密を守ると約束
する

やすこ：はい。実は…借金というのは、息子の借金でして…。前にも
相談窓口を教えてもらったんですが、結局は私が肩代わりを
していました。何度も繰り返すので、私の貯金も底をつきそう
で…。

支援者：今までご自身でなんとか解決しようとされてきたんですね。大
変でしたね。
いくらくらいの借金ですか。それと、息子さんが借金するの
には、何か理由があるんですか。

 ねぎらう
 まず、
じっくり話を聴く

やすこ：恥ずかしい話なんです。パチンコなんです。300万くらい
でしょうか。

支援者：そうなんです。息子さんは、いつ頃からパチンコを始めた
んでしょうか。

 まず、
じっくり話を聴く

やすこ：大学生の頃からバイト代をパチンコに使ってたみたいです。社
会人になってからは、つぎこむお金も大きくなったようで…。
もう社会人ですから、小遣いの範囲内なら、親は口を出さない

で良かったら、こんなことになってしまっ

支援者：口を出さないようにしておられたんですね。

 肯定する

やすこ：はい…。でもやっぱり心配で、給料から決まった額を貯金させたりしてたんですが、口座からこっそり引き出していたんです。叱ったりもしたんですが、「僕の給料だから何に使おうが勝手だろ」って逆切れされて…。

支援者：息子さんのために、いろいろ考えて取り組んでおられたんですね。

 肯定する

やすこ：ええ…。でも、貯金が底を尽いたら、知らない間に消費者金融で借金してたみたいで。好き勝手ばかりして…私の育て方が甘かったんです。本当に情けない話です。

支援者：自分を責めておられるんですね…。そんなふうになると、つらいですね。話してくださって、ありがとうございます。

 共感する
 ねぎらう

やすこ：いえ…。正直なところ、またパチンコで借金をするんじゃないかと不安なんです。息子にどう接したらいいんでしょう…。

支援者：やすこさん、息子さんは、自分でコントロールすることが難しくなっているのかもしれませんが、これは、息子さんの意志が弱いからということではありません。

◎ 情報提供

やすこ：そうなんですか。

支援者：息子さんのパチンコについて、どのように理解したらいいか、家族としてどう接したらよいか、ということについては、保健所で相談できますよ。やすこさんだけでも相談に行くことで、役に立つ情報が得られるかもしれません。もちろんそこでも秘密は守られますから、安心して相談できますよ。

◎ 情報提供

 秘密は守ると約束する

やすこ：そうなんですか…。でも借金の問題をなんとかしないと…。そっちが終わってからでもいいのでしょうか？

支援者：そうですね、借金の問題も急ぎますね。この前お伝えした借金の相談窓口と一緒に一緒に行ってみませんか。

◎ つなぐ

<p>やすこ：そうですね…。お願いしてもいいですか？</p> <p>支援者：わかりました。それと、借金問題が解決しても、またパチンコに行く借金をつくってしまう可能性があります。忙しいですが、保健所への相談も早めに行った方がいいですよ。保健所へも、私も一緒に行って考えますので。</p> <p>やすこ：そうですか。ではお願いします。</p> <p>支援者：では私から相談の予約を取りますね。</p>	<p> 一緒に考える</p> <p>◎ つなぐ</p>
<div style="border: 2px solid #0056b3; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>支援者はやすこさんの都合のいい日を聞き、借金相談と保健所に電話をして相談の予約を入れました。</p> </div> <p>支援者：それでは、○日は借金相談の窓口、●日は保健所の入り口で待ち合わせにしましょう。</p> <p>○日までに借金の督促があっても、肩代わりしないようにしてくださいね。</p> <p>それ以外にも何かあれば、また連絡してくださいね。</p> <p>やすこ：わかりました。よろしくお願いします。</p>	<p> 長く関わる</p>

【この後の経過】

やすこさんと支援者は、借金の相談窓口から借金整理の方法や今後の対応について話を聞き、少しこころの余裕ができました。保健所では家族としてどう対応していくかについて、相談員や嘱託医と相談し、今後も保健所で継続相談をすることになりました。また、保健所でギャンブル等依存症の家族の自助グループについて教えてもらい、見学に行くことになりました。支援者も引き続き、やすこさんと連絡を取り合い、声をかけ、保健所での相談内容や、借金の状況などを聞きながら、長く関わり続けています。

○ ロールプレイまとめ

<本人編>

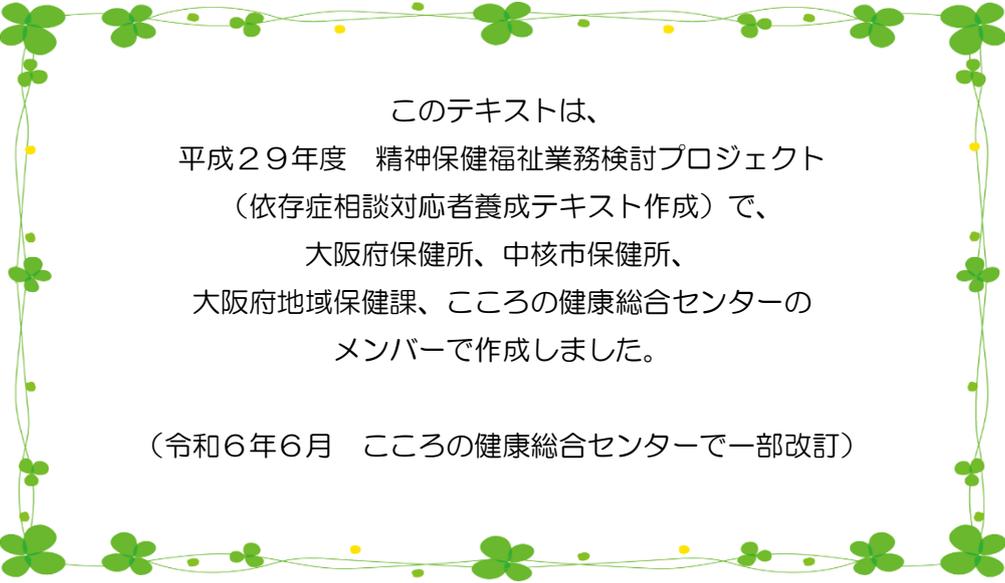
- ・本人が依存について相談をする時は、「こんなこと言っても大丈夫かな」「責められないかな」といった不安や恐怖など色々な思いを抱えています。まずは、「話して下さってありがとうございます」とねぎらいます。
- ・本人は「やりたい」「やめたい」という2つの気持ちの中で揺れていることが多く、この2つの気持ちがあるからこそそのしんどさに共感し、声かけをします。その中で本人が回復したい思いを持っていることを確認し、そのためにできることを一緒に考えていきます。

<家族編>

- ・依存症の人の家族は他人に依存の問題について話すことに抵抗があります。そこで、安心してもらえるように、秘密は守ることを伝えた上で、話を聞いていきます。この時、話すことに無理強いせず、話してもらえた時には、話しにくいことを話して下さったことをねぎらいます。
- ・暴力や暴言がひどく、家族に危険が及ぶ可能性が高い場合は、安全の確保が最優先です。避難場所を探すことや通報の必要があると判断される場合は、家族の同意を得た上で、他機関に連絡するなどの対応をとってください。
- ・「私の関わり方が悪かったせいだ」などと、自責感を抱いていることもあります。「ねぎらう」「肯定する」「共感する」を使って、家族の気持ちを否定せずに受け止めます。

<まとめ>

本人・家族どちらにも共通していることですが、依存症の問題は、本人の身体面・精神面の問題だけでなく、家族・職業・人間関係、借金など様々な問題が関係していることも多くありますので、様々な機関と連携して支援にあたる必要があります。タイミングを見て、医療機関や相談機関、自助グループ等を紹介します。初めての場所へ一人で相談に行くのは勇気のいることなので、関係機関の連絡先を伝えるだけでなく、その機関についてわかりやすく説明をしたり、支援者が相談の予約を取ったり、場合によっては同行したりすることがとても大切です。



このテキストは、
平成29年度 精神保健福祉業務検討プロジェクト
（依存症相談対応者養成テキスト作成）で、
大阪府保健所、中核市保健所、
大阪府地域保健課、こころの健康総合センターの
メンバーで作成しました。

（令和6年6月 こころの健康総合センターで一部改訂）



こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課

令和6年6月改訂

〒558-0056 大阪市住吉区万代東3-1-46

☎06-6691-2818 FAX 06-6691-2814

ホームページ「こころのオアシス」<http://kokoro-osaka.jp/>

